

MONTHLY Fukku

マンスリー フック

発行
社会福祉法人
佐賀県社会福祉協議会
佐賀市天神一丁目4番15号
TEL0952-23-2145

■「市町社協 実践発表会」を開催！～市町社協が地域福祉の中核的な組織であり続けるために～

1月29日（水）に、市町社協の役職員や行政職員等を対象として「市町社協 実践発表会」を開催しました。

▶各市町社協の役職員等が一緒になって、今後社協として取り組むべき活動の方向性や課題、求められる役割等について学ぶために開催し今年度で7回目となりました。

▶研修では、(公財)テクノエイド協会 理事長の大橋謙策氏より、地域共生社会の実現に向け、社協に期待される役割と果たすべき使命について講義いただきました。▶続いて、大橋氏にファシリテーター兼アドバイザーを、香川県琴平町社協 会長の越智和子氏にコメンテーターの役を

担っていただき、県内5社協から特徴的な地域福祉活動について「実践発表」を行い、登壇者同士の意見交換を通して、社協に期待される住民支援のあり方や今後の事業展開などについて、学びを深めました。▶研修の最後には、大橋氏から「社協が中心となって関係機関とともに、住民一人ひとりの困りごとに寄り添い解決するための仕組みづくりを展開していくことが、誰も取り残さない地域共生社会の実現につながる。」と力強いエールをいただきました。▶本会としても、このような研修の開催等を通じ、市町社協が地域福祉の中核的な組織として役割を発揮できるよう支援していきます。



〔実践発表にて自社協の取り組みと、その想いを語る発表者〕

■栄えある受彰、おめでとうございます！社会福祉の向上に尽くされた方々の表彰式を開催しました

1月24日（金）に、アバンセホールにおいて長年にわたって佐賀県内の社会福祉事業に尽力した個人や団体を顕彰する「令和6年度佐賀県社会福祉功労者表彰式」を開催しました。

▶表彰式は、佐賀県、佐賀県社会福祉協議会及び佐賀県共同募金会の共催で毎年開催しており、山口 祥義県知事及び陣内 芳博会長が出席しました。▶今年度は、佐賀県知事表彰者58名3団体・佐賀県社会福祉協議会会長表彰者61名10団体・佐賀県共同募金会会長表彰者16名1地区5団体6支会が受彰されました。

▶受彰者は、民生・児童委員、ボランティア、社会福祉施設・社会福祉団体・社会福祉協議会の役職員等、福祉分野で活躍されている方々で、表彰式では陣内会長から「受彰者の皆様のご努力により、福祉の現場は支えられています。」との感謝の言葉が述べられ、代表者へ賞状と記念品を授与しました。▶本会では、今後も福祉の現場を支える方々に対して、表彰式等においてその功績を称えてまいります。



〔表彰式の様子〕

■サービスの質向上を目指して～「第6回佐賀県老人福祉施設研究発表会」を開催しました

1月17日（金）、佐賀県社会福祉会館Fukkuにて「第6回佐賀県老人福祉施設研究発表会」を開催しました。この発表会は、施設における質の高い介護サービスの提供についての活動や、地域における病院やNPOなどとの連携の取組事例について発表・共有することで、職員の専門性の向上を図ることを目的としています。35施設から104名が参加し、10施設が発表しました。▶発表後は参加者の投票により、1位から3位までの順位を決定し、1位には通所介護における機能訓練、栄養、口腔の一体的取組について紹介された社会福祉法人梅生会 好日の園が選ばれました。

▶参加者からは、発表に対する質問だけではなく「他の施設・事業所の取組を知る大変有意義な時間でした」「多くの職員が仕事に疑問を持ちながらもマンネリ化し、業務に追われているのが現実だが、利用者目線に立ったサービスを提供するために、今回の様々な課題と取組を他の職員に伝えていくことが大切だ。」といった感想がありました。▶本会では、引き続き福祉施設のサービスの質向上や人材定着につながる取組を支援します。



〔多職種協働によるスキンケアへの取組について発表される施設職員〕

■県社協一丸となってコロナ特例貸付のフォローアップに取り組むため「支援チーム」を発足しました

令和7年2月1日付けで全課をまたぐ「コロナ特例貸付フォローアップ支援チーム」を発足しました。▶本会の重点事業としてコロナ特例貸付利用者の貸付後の生活安定に向けて市町社協とともにフォローアップ支援に取り組んでいます。この取組を通じて利用者の生活状況等をお聴きすると、世帯員（親や子ども等）全員が課題を抱えた複雑化なケースが多く、世帯を丸ごと支えていくことが重要となっています。世帯を丸ごと支えるには、本会の部・課の垣根を超えて組織全体の強みを活かす必要があることから、今回支援チームを発足しました。

支援チームのメンバーは通常業務と合わせて全員がフォローアップ業務を兼務します。▶2月3日（月）には「支援チーム発足式」を行い、趣旨や想定される業務内容等について説明し、県社協一丸となってフォローアップ支援に取り組んでいくことを改めて確認しました。▶今後支援チームでは、担当である福祉資金課が中心となって、定期的にチーム内で困難事例等への対応を検討・協議し、各課の専門性を活かした支援や市町社協と連携しての同行訪問などを実施し、これまで以上に利用者世帯の生活安定を目指して取り組んでまいります。



〔発足式で熱心に説明する福田地域福祉部長〕